協同的な学びによる食・健康情報の発信―ラジオ番組制作を通じての実践力の醸成―

背景・目的

「教育ファーム」に参加する学生(コアメンバー)を中心とし、学内外の講義・実習、現在の食料問題、環境問題、健康課題、震災関連支援活動を番組で取り上げ、管理栄養士としての役割なども考察し、各専門領域の教員の指導のもとラジオ番組を制作し、放送することとした。

番組制作の中心は3年生と4年生の有志とし、 番組参加は1年生から4年生および食品栄養学科 教職員とした。ここでは学年を超えた学生間のみ ならず、教員、助手を含めた学科の構成員が互い に番組内容を創りあげていくプロセスを通して、 互いの情報を交換し、学び合う、すなわち、協同 的な学びの場が生成することを目指した。

実施内容

ラジオ番組タイトル:管理栄養士を目指す宮城学 院女子大生のパワフル奮闘記

ラジオ放送期間: 2011年6月1日から11月22日の期間を放送期間とした。26回分の番組を作成し、放送した。



ラジオ放送期間: 2011年6月1日から11月22日の期間を放送期間とした。26回分の番組を作成し、放送した。

収録場所と収録日: fm いずみ 797 (79.7MHz) スタジオを貸借し、収録した。基本的に2週放送 分を収録した。収録は火曜日19:00から20:30 に行った。

番組時間: 週1回30分の番組とした。

放送時間: 木曜昼12:00-12:30とした。

出演者構成:司会進行役として学生1名、ゲスト役として学生2から3名、コメンテーター役として教員1名の計4-5名で構成した。

放送内容:「私たちのキャンパスライフ」および 「健康ワンポイント」の二部構成とし、合間に 元気になる曲を選曲し、放送した。各ゼミや有 志グループがテーマを決めて制作した。放送音 源は毎週放送日に大学ホームページに公開した。 参加学生数:スタジオ入りした学生は78名であ り、うち司会進行役を経験した学生は9名であっ た。教職員は5名であった。

指導体制:番組内容については教員が指導し,放送の進行は NPO オリザネットのスタッフから指導を受けた。

結果及び考察

学生が中心になって学内外の活動をラジオスタジオでリスナーに伝えることは原稿の準備を始め、時間を費やし、緊張感を有し、学生には負担となることが予想されたが、参加学生の達成感は高かった。fm いずみ 797 のスタジオの中での経験は、大学構内では得ることができないものが多く、参加学生は「スタジオを仕切る難しさ」、「リスナーの方々を想定してのトーク」、「初めてスタジオ入りする友達のなごませ方」、「エンディング残り時間30秒の使い方やまとめ方」など、管理栄養士として対象者にわかりやすく情報を伝え、栄養教育を進める上での実践能力の開発に役立つ試みと判断することができる。なお、本活動は fm いずみ番組審議会および大学新聞で取り上げられ、高い評価を受けた。